

戸田市 施策評価シート

作成日	平成30年06月19日	作成者名	篠原 博	評価者名	吉野 博司
-----	-------------	------	------	------	-------

1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	02 誰もが健康でいきいきと生活できるまち	中心となる課	福祉部・福祉保健センター
分野	02 健康づくり	関係課	
施策	16 健康づくり支援の充実		
施策の目的	市民が健康で、生きがいを持ちながら、自立して活動的に暮らせるようにします。 また、子どもたちが心身共に健やかに成長するために、必要な育児支援を行います。		

2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	感染症対策事業
取り組み②	がん検診事業
取り組み③	健康教育事業
取り組み④	親子保健事業
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値						
				H27	H28	H29	H30	H31	H32	
がん検診受診人数	胃・肺・大腸・子宮・乳がん検診 (5つのがん検診受診人数)	人	32,000	28,960	30,366	28,702				
こころの健康教育事業参加者数	講演会、講座の参加者数	人	100	70	208	129				
こんには赤ちゃん訪問実施率	生後4か月までの乳児家庭訪問率 (訪問件数÷対象者総数×100)	%	95	90.6	94.5	97.3				
健康づくり事業参加者数	60歳未満の事業参加者数 (ポイント事業・講座・骨量測定)	人	390	260	323	281				
その他施策の取組事項に係る成果										

4. 施策の展開 <ACTION>

課題	1 第2次戸田市健康増進計画では市民が元気で長生きできる期間（健康寿命）を延ばすことにより豊かな生活を送ることを目指している。 しかし、埼玉県算出の健康寿命（65歳に達した市民が要介護2以上になるまでの期間）は男女ともに県内下位であり、健康寿命の延伸が最大の課題である。	対応策	1 健康づくりを行うとポイントが付与され、賞品が獲得できる事業などを進め、ICTなどを利用し生活習慣の改善や健康意識の向上を促していく。
	2 複雑な問題を抱え、個別支援が必要な市民や、緊急対応が必要な場面が増加している。また、困難事例も増加している		2 子育て世代包括支援センター等でハイリスク家庭の早期把握・早期支援を行う。 虐待や精神疾患など様々な問題を抱える市民に対して地区担当保健師が中心となり、関係機関と密に連携を取りながら支援を行いながら、同時に保健師のスキルアップにも取り組んでいく。

○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	健康維持・増進のための様々な事業を実施した。特に健康づくりポイント事業は短期的ではあるが、医療費の抑制効果が確認された。また各指標の状況から概ね予定通りの進捗である。
B		
今後の方向性（人員/予算） (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	市民が健康で生き生きとした生活を送るためには健康づくりのための事業は必須である。平成30年度策定の健康増進計画において重点施策を打ち出すが、人員予算とも現有を活かし、効果的な施策を打ち出していく。
→		

(評価者コメント)

健康寿命の延伸を目指し、乳幼児から高齢者まで、幅広い年齢層の市民を対象に事業を実施し、施策の進捗は概ね予定通りである。健康づくりポイント事業については検査データや医療費で客観的に評価できた。他の事業の評価方法についても今後検討する必要がある。また、課題にある通り、若い世代の健康意識を高めるため、さらなる工夫が必要である。したがって30年度策定の健康増進計画においてより効果的な施策を打ち出してまいりたい。

戸田市 施策評価シート

作成日	平成30年06月19日	作成者名	篠原 博	評価者名	吉野 博司
-----	-------------	------	------	------	-------

5. 事務事業の検討 【一般会計】

(単位：千円)

大 事 業	中 事 業	事務事業名 事業コード 事業内容	事業区分 H31計画額	事務事業評価の結果						★事務事業の方向性			H31 予 算 額	事業費 うち 一般財源									
				H29決算額		事業の 方向性	実施 計画 候補	評価結果				事業の 方向性			実施 計画 候補	施策 内優 先度	コメント						
				H30予算額				施策への 貢献度	経費水 準	事業手 法	受益・負 担の公 平性												
				事業費	うち一般財源													人件費					
02	01 04 01 06 01 02	妊婦健康診査事業	132,407	147,941	1	○	B	B	B	B	1	○	義	母体や胎児の健康確保のため必要な事業として、事務を円滑に進めていく。	0								
		妊婦健康診査に関わる事務。健診内容の検討、委託医療機	156,315	156,315											0								
		乳幼児健診事業	8,653	9,112											1	A	A	A	A	1	義	法等に基づく児の発育や健康状況の確認。よりきめ細やかな個別対応をしていく。	0
		①4か月児健診 ②1歳児健診	9,692	9,692																			0
③1歳8か月児健診(法	25,519	25,519	0																				
04	01 04 01 06 01 04	子育て支援事業	33,926	47,361	2		A	B	B	B	2	A	育児不安の保護者を支、乳幼児の健やかな成長を促す。不育症検査実施、子育て包括センターの増。	0									
		①こんにちは赤ちゃん訪問事業(未熟児訪問、産婦新生児	48,010	27,385										0									
			19,312	19,312																			
計(千円)				事業費	738,905	894,229	913,366	0															
				うち一般財源	715,319	850,024	870,801	0															

事業の方向性： 1 現状で継続 2 拡大して継続 3 縮小して継続 4 他事業と統合 5 休止 6 その他見直し
 7 平成31年度で終了 8 平成30年度で終了 9 平成29年度で終了